



Sonja 2

2.2

2.3

Loudspeaker System



Owner's Manual

■ 目次

ページ

■ はじめに	-----	2 - 3
■ Sonja2 構成内容	-----	3
■ 安全に御使用頂くために	-----	4
■ 開梱する	-----	5
■ 梱包内容	-----	6
■ セッティング		
◆接続する	-----	6
◆設置する	-----	7
■ お手入れについて	-----	7
■ トラブルシューティング	-----	7
■ スタンドについて	-----	7
■ 保護ガイドについて	-----	7
■ スパイクについて	-----	8
■ バインディングポスト（スピーカー・ターミナル）について	-----	8
■ リスニングレベル	-----	8
■ 主な仕様	-----	9
■ 保証について	-----	10

■ はじめに

このたびは YG Acoustics 社 Sonja 2™をお買い求めいただき、誠にありがとうございました。

2016 年、YG ACOUSTICS 社より発表されたフラッグシップモデル “Sonja XV”。

その他の追従を許さないパフォーマンスは、世界のハイエンド・オーディオファイルから称賛を浴びました。

劇的な進化を成し遂げた、従来の同社のみが達成することが出来る周波数と位相の両最適化を実現した Dual Coherent™クロスオーバー・ネットワークに加え、2018 年春、Sonja XV へ搭載された革新的技術「Billet Dome™」 ハイブリッド・ツイーター、そして「ViseCoil™」 インダクターは Sonja2 へと継承されました。

■ 「Billet Dome™」 ハイブリッド・ツイーター

デザイナーYoav Geva にとってハード・ドーム、ソフト・ドームの持つ利点だけを持ち合わせたツイーターの実現が大きなテーマの一つとなっていました。

現在ツイーターの振動版には多種に渡る素材が採用され、それぞれの素材には一長一短の特徴があります。

超硬質素材のタイプは再生周波数帯域が広く、再生可能帯域以降の減衰スロープはなだらかになり、倍音成分の再生にも有利に働くのが特徴です。

その一方で減衰過程において、各振動版素材とエッジ部の複数の分割共振（ピーク）が発生してしまい音質に影響を与えてしまう事は否めません。

対してソフト・ドーム タイプツイーターは質量が低く、分割共振周波数や歪にまつわる音質に対する悪影響は無視する事が出来ます。

そしてその質量の齎すハイ・トランジェント特性は極めて自然な再生音質を可能にする一方、再生可能周波数を超えてからの減衰スロープは急峻になり、超高周波帯域における聴感上の伸びはハード・ドーム タイプに比べて劣ってしまう事も事実です。

モーター・システムを 3D-CNC カッティングする事で驚くべき歪み率の向上とスムーズな高域再生を獲得した Forge Core™ツイーターを母体とし、ソフト・ドーム ダイアフラムの持つピーク特性を持たない極めて自然、かつハイ・トランジェント特性を維持しながら、ハード・ドームの減衰特性を併せ持つハイブリッド・ツイーター「Billet Dome™」を完成させました。

分割共振の発生しないソフト・ドームを、重量わずか 30 mgというアルミ削り出し(!)エアフレームにて固定。

しかもこの重量ながら、通常のハード・ドームと比較して14倍の厚みを持たせることで、構造上の強度は如何なる素材を用いたハード・ドームより強固な物になっています。

「Billet Dome™」の登場を以て、ハード・ドーム VS ソフト・ドーム論争は終焉を迎えました。

■ 新設計クロスオーバー・ネットワーク

「Billet Dome™」ハイブリッド ツイーターの性能を最大限発揮する為に、Dual Coherent™クロスオーバー・ネットワークも一新。

「Signature Package」も同一基板内に収められ、驚異的なシグナル・パスの短縮を達成しました。

無論、全てのパーツも見直され大幅な音質向上をもたらしています。

■ 「ViseCoil™」 インダクター

低周波数帯域を受け持つインダクターへ供給される大電流量はコイル自体に振動をもたらし、特性劣化を引き起こしてしまいます。

YG 社ではこの問題を解決すべく、インダクターまでも完全に自社開発/生産に踏み切りました。

日本が誇るリニアモーターカーの開発時に発表された電気マグネット・モーターに発生する振動を排除し、エネルギー伝達効率を飛躍的に向上させる科学理論を、コイル作製に応用。

この理論を具現化すべく、コイル製作には専用ワインディング・マシンを開発する事でズレ、たわみを徹底的に排除。

さらにアルミ削り出しによりフレームは、このコイルを 4 点にて強固に固定します。

従来のコイルと比較してリニアリティは 60%、残響損失率は 24%の向上を達成し、駆動するアンプへの負担をも大幅に軽減する事に成功しました。

■ Sonja 2™ 構成概要

Sonja 2™は最終的に 4 モジュールによって完成されます。 モジュールの拡張は、何時でも可能です。無論、現状の構成のままの御使用も問題ありません。

- ・ Sonja 2.1 : Sonja2 メインモジュール。 専用スタンドにて小型スピーカーとして使用可能。
- ・ Sonja 2C : Sonja2.1 のセンターSP仕様。 水平配置専用スタンドにて使用します。
- ・ Sonja 2.2 : ミドルサイズ・フロアスタンディング。
Sonja 2.1+ウーファ モジュール Sonja 2/2 構成。
- ・ Sonja 2.3 : フラッグシップモデル。
Sonja 2.1+ダブル ウーファ・モジュール (Sonja 2/2 + Sonja2/3)

※ YG Acoustics 前モデル ANAT 3, ANAT 3 Signature、そして Sonja™からのアップグレードも可能です。アップグレード作業はユーザー各位のご自宅での作業になる場合がございます。

お買求め戴いた販売店、もしくは ACCA へご相談ください。

■ 安全にご使用頂くために



本機の性能を十分に引き出し、また安全にご使用いただくため、以下の点にご注意ください。

- 本機をご使用になる前に取り扱い説明書をお読み頂き、本機の機能、操作に関し御確認戴けます様、お願い致します。
- 本機を接続もしくは外す際は、必ず接続される機器の電源をお切り下さい。
- お手入れの際は、乾いた綺麗な布で行って下さい。化学洗剤や可燃性のある溶剤または研磨剤が含まれる溶剤のご使用も絶対にお止め下さい。本機本体や仕上げにダメージを与える可能性があります。
- 御自身で修理をする事は絶対にお止め下さい。
もし何かの異常が発生した場合は、お買い求めの販売店、もしくは ACCA まで御連絡下さい。
- スピーカーケーブルを接続する際に、スเปードプラグ、バナナプラグが所定のバインディング・ポスト以外に接触せぬ様に、確実に固定して下さい。
YG 社製品のバインディング・ポストは赤が「+」、シルバーが「-」です。
- 本機を超高温/低温状態での放置は絶対にお控えください。
- 屋外でのご使用はお控えください。
- 本オーナーズ・マニュアルは保管される様、お願い致します。

■ 開梱する



注意： 各モジュールの梱包は木枠ケースに収納されており、梱包最大重量は 136kg に達します！

- ※ 開梱の際、一人で持ち上げたり取り出したりする事は絶対にお止め下さい。
- ※ 必ずお買い求めの販売店、もしくは力のあるアシスタントと共に作業下さいます様、お願い致します。
- ※ また商品もしくはケース等で怪我をなさぬよう、くれぐれもお気を付け下さい。
- ※ 予期せぬ怪我を回避する為に、可能な限り背筋を立てた状態にて脚力を中心に作業を行って下さい。
- ※ 腰が曲がった状態で重量物を持ち上げる事は極力避けて下さい。
思わぬ怪我を引き起こす可能性が高くなります。
- ※ 梱包ケースの取扱いはケース全体をサポートしながら行って下さい。 蓋を介しての作業はお止め下さい
- ※ Sonja 2 を梱包箱にて保管する際は、梱包箱の底面を下にして垂直に立てた状態で保管してください。
底面用以外の梱包箱内部のクッション材は、長期間に渡る固定加圧には耐えられません。

「開梱手順」

- 1). 木箱の底面を下に垂直に設置します。 その際に木箱にダメージ等が無い確認して下さい。
 - 2). フィリップス#2 の+ドライバー（付属していません）を使用して、蓋の固定ネジを外します。
この時、箱と蓋を固定しているバンドはまだ外さないで下さい。
 - 3). この状態から、蓋が下に来るように慎重に箱を倒します。 最低 2 名 + α 以上で行って下さい。
もし回転中に蓋が大きく動く場合は、固定バンドを締め直して下さい。
 - 4). 設置終了後、ここで固定バンドを外します。
 - 5). 慎重に木箱を持ち上げて外します。 この作業も必ず 2 名以上で行って下さい。
この時点でフォームにて固定された本体を確認する事が出来ます。
 - 6). 一名が一方の固定フォームを押さえ、もう一名（可能ならば 2 名）はフォームが確実に本体を固定しているかを確認しながら本体を垂直に起します。
起し終わった時に、本体が梱包箱の蓋から離れる様に調整しながら作業して下さい。 ここで蓋を安全な場所へ移動します。
-  **本体を起す際にドライバーユニット、バインディング・ポスト、ドライバー保護ガイド等を傷つけぬ様、作業へは細心の注意を払って下さい。**
- 7). 上側の固定フォームを慎重に外します。 本体を包んでいるビニール梱包はまだ外さないで下さい。
 - 8). ここで本体を 1 台ずつ固定フォームから外していきます。
一名が残る側の本体を押さえたまま、もう 1 名（可能ならば 2 名）が本体を外すように行って下さい。
 - 9). スピーカー本体を固定フォームから外した後、ビニール梱包を外します。
ここでもし傷などのダメージを発見した時は、速やかにお買い求めのディーラー、または ACCA へご連絡頂けます様、お願い致します。
 - 10). 開梱はウーファ部より行います。(Sonja2.3 の場合： Sonja 2/3 → Sonja 2/2 → Sonja 2.1)
安全確保の面から各モジュールを開梱毎に、順次モジュールを付属の長尺ボルトにて固定してください。
- ※ 不測の事態等で修理が必要になった場合の為に、梱包箱はお手元に保管下さいます様、お願い致します。
元箱以外の手段で梱包、輸送されて本体にダメージを負った場合、保証対象外となります。

■ 梱包内容

木箱には下記の物が収められています。

※ 欠品があった場合は速やかにお買い求めの販売店、または ACCA へご連絡下さい。

- 1). 各モジュール本体（1 箱/1 本）
- 2). 取扱説明書
- 3). 保証登録カード
- 4). 六角レンチ x 2 本（大→本体パネルネジ用。 小→ドライバー固定ネジ用）
- 5). モジュール固定長尺ボルト用ソケット・ドライバー（レンチ） x 1 本
- 6). ジャンパー プレート
 - Sonja 2.2 : 2 ペア（4 本）
 - Sonja 2.3 : 4 ペア（8 本）
- 6). スパイク（Sonja 2.2、Sonja 2.3 共に本体⇄スパイク連結用 5mm/ボルト x 8 本付属）
 - Sonja 2.2 : 8 個（高タイプ）
 - Sonja 2.3 : 8 個（高タイプ x 4、低タイプ x 4 本）
- 7). スパイク用プロテクター・ディスク x 8 枚（※）

（※） このプロテクター・ディスク（素材=デルリン）は音質的、強度面の考慮は一切されていません。
セッティング、移動時の一時的（短時間）な用途のみにご使用下さい。
- 8). モジュール固定用ボルト
 - Sonja 2.2 : 476mm x 4（Sonja 2.1、Sonja 2/2 固定用）
 - Sonja 2.3 : 476mm x 4（Sonja 2.1、Sonja 2/2 固定用）、565mm x 4（Sonja 2/2、 2/3 固定用）

■ セッティング

再生パフォーマンスはリスニングルームの環境、スピーカーの設置に大きく左右されます。

次の「接続」「設置」ガイドラインをご参考下さい。

◆ 接続する

- ※ 接続の際は、全てのオーディオ機器の電源は OFF にして下さい。
- ※ 接続機器全てのポラリティ+、-が確実に接続されている事をご確認下さい。
スピーカー・ターミナルは赤が（+）、シルバーが（-）となります。

 如何なる場合でも、（+）と（-）のスピーカー・ターミナルがショートしない様にして下さい。

 Sonja 2.3 に於いては、Sonja 2/2（中段のウーファ）を単独で鳴らさないでください。
信号は必ず最下段の Sonja 2/3 を介して行って下さい。

◆ 設置する

以下の設置方法は、Sonja 2™の再生が最適になる為の参考例です。

1). 左右各スピーカーをリスニング・ポジションより等距離に設置します。

この時、僅かに内振りになる様にセットして下さい。

2). リスニングポイントに対し、ツイーターが垂直になる様に仰角を調整します。

傾きの調整はスパイクによって行います。スパイクは、3本もしくは4本の設定が可能です。

3本にてご使用は不測の際に転倒する確率が高くなります。予め御了承下さい。

また高さ調整はスパイクの固定ネジを回す事で行います。

この時にネジがスパイクを固定するのに十分な強度、及び長さを維持出来る範囲で行って下さい。

※ 各リスニングルームの環境に伴い設置環境も異なります。

上記の設置方法は、YG Acoustics の一般的なガイドラインとお考え下さい。

■ お手入れについて

Sonja 2™のキャビネットは極めて高品質な仕上げが施されており、定期的なメンテナンスは必要ありません。

お手入れの際は水を含ませた後、硬く絞った柔らかい布などで行って下さい。

指紋の跡や汚れ等があった場合は、上記の水拭きの後に素早く乾いた布で拭き取って下さい。

※ この際、ドライバーユニットやターミナルに水が掛らない様に注意して下さい。

■ トラブルシューティング

異音（歪み音等）が発生した場合は、他の機材、もしくはワイヤリング等の確認も行ってください。

全てのドライバーユニットから異音が発生していた場合は、Sonja 2™以外の装置の故障の可能性が極めて高いと考えられます。

全ての機材が良好と確認出来た場合、直ちに電源を切りお問い合わせの販売店または ACCA 迄ご連絡下さい。

■ スタンドについて（Sonja 2.1、 Sonja 2.1C）

Sonja 2.1 を小型スピーカーとして単独でご使用、または Sonja 2.1C でサラウンドを構成される場合には、専用スタンドが用意されています（受注生産）。

■ 保護グリルについて

ウーファ、及びミッド・ウーファに取り付けられている保護用グリルは、他の（サラウンドネットやパンチング・メタルタイプ）保護グリルに対し、音質への影響は極めて低く抑えられています。

とはいえ、最良の音質の為にはグリルを外してご使用する事をお勧め致します。

グリルは左右各 1 本（計 2 本）のネジで固定されています。このネジを外し、グリルを取り外して下さい。

この時にネジやグリルがドライバーユニットを傷つけたりしない様に、作業は慎重に行って下さい。

 再度取り付ける際は、ネジの締めすぎに十分気を付けて下さい。

■ スパイクについて

Sonja 2™には高さ調整機能付きスパイクが付属しています（8本）。

底板には3点支持、もしくは4点支持に対応する為のスパイク取り付けタップがあります。

3点支持でご使用の場合のスパイク取り付けは、前2本、後1本（中央タップ）となります。

4点支持での御使用時は、各コーナー4個のタップへスパイクを取り付けて下さい（後中央タップはオープン）。

取り付け手順は、まず本体接続用ボルトを本体にねじ込み、その後本体を固定してください。

 スパイクは3ピース構成になっています。

1. スパイク ボディ部 2. 本体接続用ボルト 3. スパイク シャフト

調整は全て3.の先端スパイク シャフトにて行って下さい。

スパイクを本体に取り付ける前に予めシャフト部を緩めておく事で、調整作業が行い易くなります。

スパイクのネジがスパイクを固定するのに十分な強度、及び長さを維持出来る範囲で行って下さい。

 スパイク ボディ部での調整は絶対にお止め下さい。 重大な破損の原因になります。

※スパイクを取り付ける際は、2名以上で行って下さい。

取り付けは、本体を横に若干傾けてから（可能であれば寝かせ）作業する事をお勧め致します。

またスパイクを取り付ける時には、過剰に締め付けない様にして下さい。

※スパイクの先端は非常に鋭利な形状をしています。

床等に傷が付く恐れがありますので、設置の際は一時的に付属のプロテクター・ディスクをご使用下さい。

■ バインディング・ポスト（スピーカー・ターミナル）について

Sonja 2™へ使用されるスピーカー・ターミナルはノブ、スリーブ共に絶縁処理が施された YG 自社製ターミナルが採用されています。

この高品質ターミナルはスペード、バナナプラグの如何なる接続に於いて、最良の電氣的接点を可能にします。

接続後にスピーカーケーブルに躓いたり、引っ張る様な環境が起らない様に引き回しには十分配慮して下さい。

このターミナルの接続力は極めて強く、もしこの様な事態が発生した場合にはスピーカーが転倒する危険すらあるからです。 Sonja 2™の大きさ、重量を考慮すると極めて危険です。

お手入れは、ケーブルを外してから、乾いた布等で磨いて下さい。

■ リスニングレベル

Sonja 2™にはハイパワー・レスポンスに対しても最適化されたネットワークと強靱な強度を持つドライバーユニットが搭載されています。

さらにコンピュータを駆使し厳選されるコンポーネント、様々なテストと相まみえて、Sonja 2™は一般的な使用方法に於いては破綻する事は無いと確信しております。

しかし民生用小型スピーカーとして開発された Sonja 2™は、超大音量での連続再生には限界はあります。

良い経験則として、歪み無くクリアに再生出来ている音量以上には、音量を上げないと言う事です。

機材をダメージから保護する為にも、再生音に歪みやストレスの様な音を感じたら即座に音量を下げてください。

試聴して苦痛や不快を感じる様な大音量での再生は、常識的に避けて下さい。

■ **主な仕様** Sonja 2™ = 密閉型 3 ウェイ スピーカー システム

偏差	可聴帯域	: +/-0.7dB 以下
	左右チャンネル	: +/-0.2dB 以下
ユニット間位相誤差	可聴帯域	: 5 度以下
フィルタ	YG ACOUSTICS 社製 DualCoherent™ フィルタ	
	1.75kHz/65Hz	24dB oct
インピーダンス	通常 4Ω	ミニマム 2.7Ω
周波数特性 (可聴帯域にて±0.7dB)	Sonja 2.1	: 55Hz~40kHz
	Sonja 2.2	: 17Hz~40kHz
	Sonja 2.3	: 14Hz~40kHz
音圧レベル		87dB/2.83V/1m
寸法 (W x H x D/mm)	Sonja2.1	: 202(最大) x 495 x 525 / 57kg
重量 (Kg)	Sonja2.2	: 330(最大) x 1,285(スパイク含む) x 635 / 135kg
	Sonja2.3	: 430(最大) x 1,775(スパイク含む) x 680 / 230kg

※ウーファ用フィルター（ネットワーク）はシングル・ウーファ用（Sonja 2.2）とダブル・ウーファ用（Sonja2.3）とでは全く仕様が異なり、同一の物ではありません。

※性能、品質向上の為に上記の仕様は予告なく変更される場合がございます。 予め御了承下さい。



■ 保証について

- 本機は長期にわたって高い信頼性を発揮できるよう設計されておりますが、万が一、故障などのトラブルが発生した場合は、有限会社アッカのサービス・スタッフがサポートいたします。
 - お客様自身による修理は絶対に行なわないでください。
 - 修理のために製品をアッカに返送される際、事前にお電話で症状についてお求めの販売店、もしくはアッカにご相談下さい。
 - 製品をご返送される際、お買い求めの際に使われていた梱包材をご使用になりカートンに入れて下さい。これは保証サービスを受けていただくために絶対に必要な条件となります。
 - 製品保証期間：2 年間
- ◆ 日本国内における製品保証について日本国内における本機の製品保証については、以下の規定が適用されます。

○ 保証

本機に用いられている材料や生産工程には十分な品質管理が施されていることを保証いたします。

製品の保証期間は初代の購入者による購入日から 1 年間です。

この保証は購入日から 30 日以内に同梱の保証登録書をアッカにご返送いただいた場合にのみ適用されます。

○ 保証内容

取り扱い説明書に従わない使い方をした場合や乱暴に扱った場合、輸送中の事故や不注意、アッカ以外で修理や変更が加えられた製品に対しては、この保証は適用されません。

ご購入の販売店、またはアッカへ製品を返送される際、梱包・配送はお客様のご負担となります。

○ 修理

製品の故障が上記保証内容と条件に合致している場合、部品代や技術料はアッカが負担いたします。

○ その他

製品に対するいかなる保証についても保証期間中のみ有効です。なお、本機に接続された機器に対して付随的に発生した故障やその修理費用については、本保証ではいっさい適用されません。

※ この保証規定は英文の取扱説明書を含むすべての保証に関する記述に優先します。

輸入・発売元

AccA Inc.



有限会社アッカ

〒106-0031 東京都港区西麻布 1-15-1 森ロビル 7F

Tel.03-5785-0661 Fax.03-5785-0662

www.accainc.jp